

地域経済循環マップを使った アウトプット例

- ◆ 地域経済循環とは
- ◆ 地域経済循環図
- ◆ 生産分析－生産額
- ◆ 分配分析－雇用者所得
- ◆ 支出分析－民間消費総額

平成28年度長野県RESAS普及促進事業
受託者 特定非営利活動法人SCOP(平成29年4月更新)

地域経済循環とは

地域経済循環とは

①地域内企業の経済活動を通じて**生産**された付加価値は、②労働者や企業の所得として**分配**され、③消費や投資として**支出**されて、再び地域内企業に還流する。このいずれかの過程で地域外にお金が出た場合、地域経済が縮小する可能性があるため、上記の地域経済の循環を把握し、どこに課題があるのかを分析する必要がある。

例) 工場経営者の視点による地域経済循環イメージ (生産を起点とする場合)

①生産

- A町で自宅兼工場を営んでいる山田さんは、原材料費を引くと、年間1,000万円を稼いでいます。
- 結果、A町内の企業が**1,000万円の付加価値**を生産したことになります。



②分配

- 工場の稼ぎのうち、400万円は家計に入り、残り600万円は店の事業資金に充てられます。
- 一方、山田さんの奥さんは隣のスーパーでパートとして働いて200万円稼いでいます。
- 工場は県から優良企業として毎年200万円の助成金を得ています。
- 結果、**町外から400万円が流入**するため、A町内の住民及び企業に合計**1,400万円の所得が分配**されたことになります。



③支出

- 分配された所得のうち、山田さん一家は500万円を町内で、100万円を町外で消費します。
- また、工場設備を改修するために、500万は町内の業者に、残り300万円は町外に発注します。
- 結果、**町外に400万円が流出**するため、A町内の企業には**1,000万円が支出**として還流します。



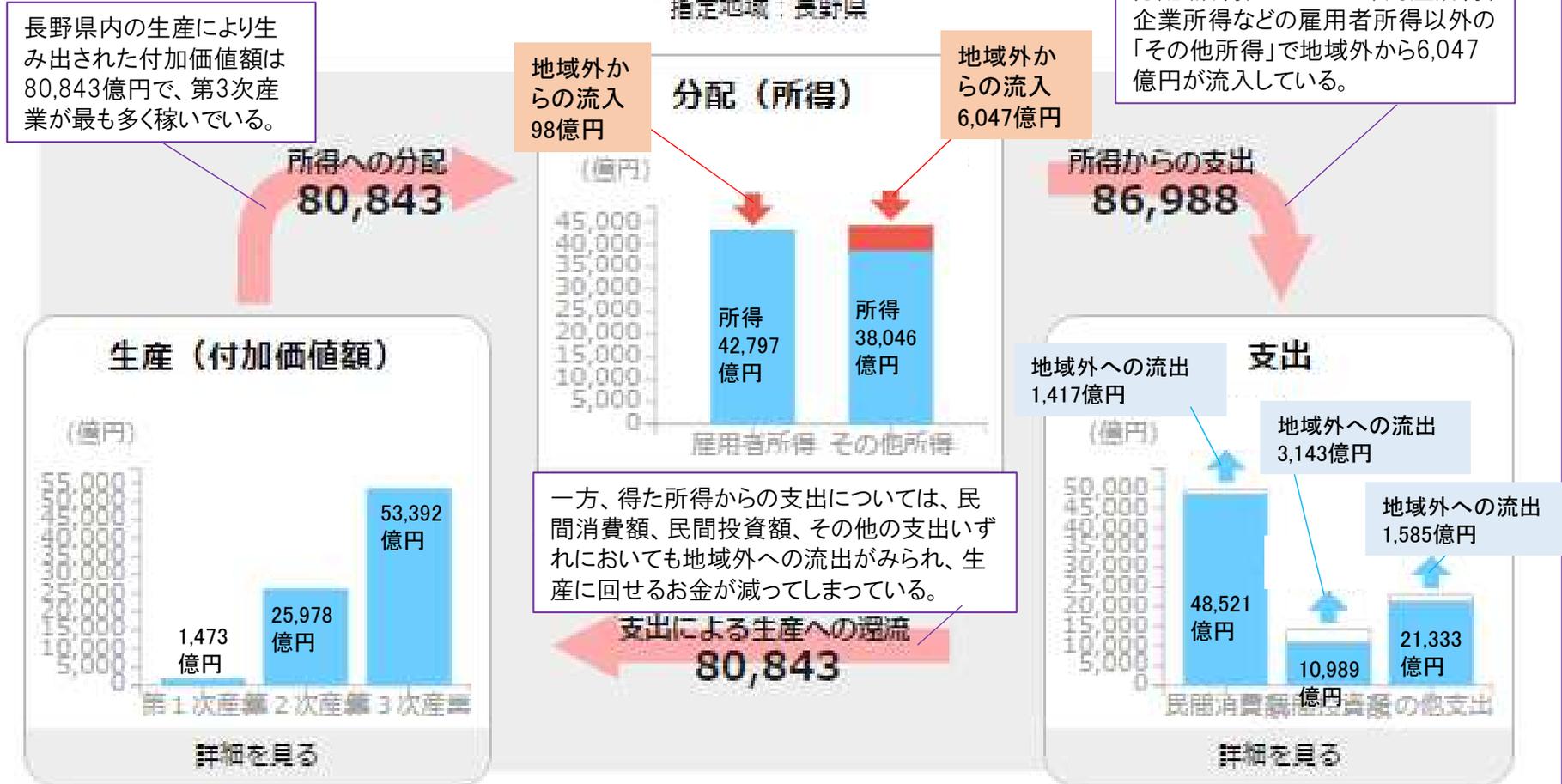
地域経済循環図

都道府県・市町村単位で、地域のお金の流れを生産（付加価値額）、分配（所得）、支出の三段階で「見える化」することで、地域経済の全体像と、各段階におけるお金の流出・流入の状況を把握することができます。

地域経済循環率
92.9%

地域経済循環図 2010年

指定地域：長野県



【出典】「RESAS地域経済循環マップ」-「地域経済循環図」/環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

「地域経済循環率」とは、生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している。(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。)

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等をいう。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等により構成される。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

都道府県・市町村単位で、地域経済について生産面から分析することで地域経済への貢献度(生産額・付加価値額・雇用者所得)を22産業分類別に把握できます。また、移(出入)・輸出入カラーで表示することで、域外に移輸出して稼いでいる産業、域外からの移輸入に依存している産業を特定することができます。

生産分析

2010年 生産額(総額) 中分類 <産業分類カラー>



長野県の実産額(総額)の産業別構成をみると、電気機械が41,593億円で最も生産額が多く、次いでサービス業の32,752億円となっている。

域外に移輸出して稼いでいる産業を赤色、域外からの移輸入に依存している産業をブルーに色分けした結果をみると、電気機械は外貨を多く獲得しているが、サービス業は域外への流出が大きい産業といえる。

<移輸出入カラー>



移輸入カラー

移(出入)・輸出入カラーで表示することで、域外に移輸出して稼いでいる産業、域外からの移輸入に依存している産業を特定可能

赤色 = 移輸出額の方が多(移輸入額 < 移輸出額)
⇒ 域外から外貨を多く稼いでいる産業

青色 = 移輸入額の方が多(移輸入額 > 移輸出額)
⇒ 域外からの移輸入に依存している産業

【出典】

「RESAS地域経済循環マップ」-「生産分析」/環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

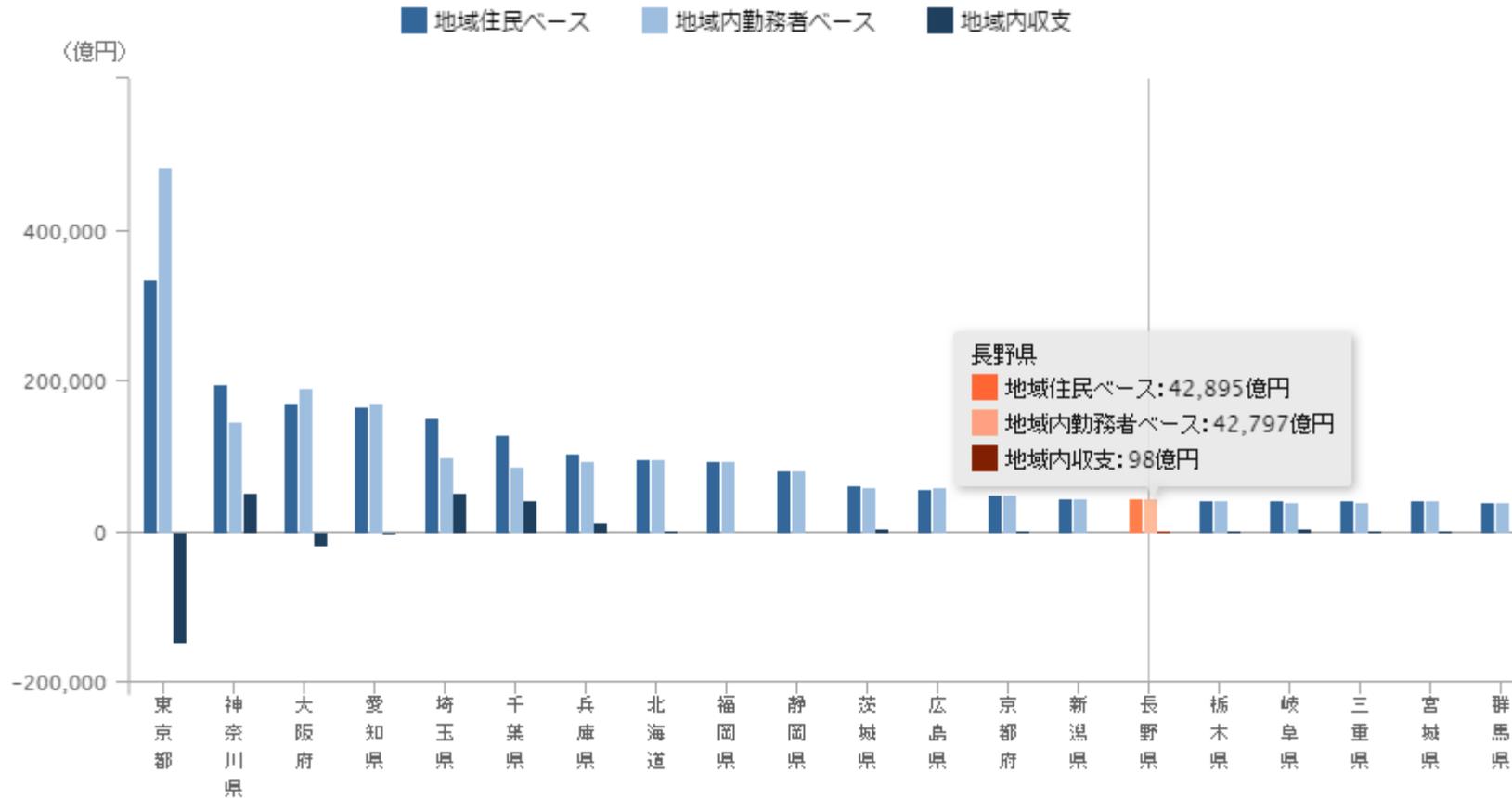
分配分析

都道府県・市町村単位で、地域経済について分配面から分析することで、地域における雇用者所得、その他所得、それらの流出入状況や他地域と比較した所得水準の優位性等を把握することができます。

雇用者所得（総額） 2010年

指定地域：長野県

雇用者所得の総額は、長野県は地域住民ベースで42,895億円、地域内勤務者ベースで42,797億円、地域内収支は98億円で、地域外から得ている所得の方がやや上回っているという特徴がみられる。



【出典】

「RESAS地域経済循環マップ」-「分配分析」/環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

支出分析

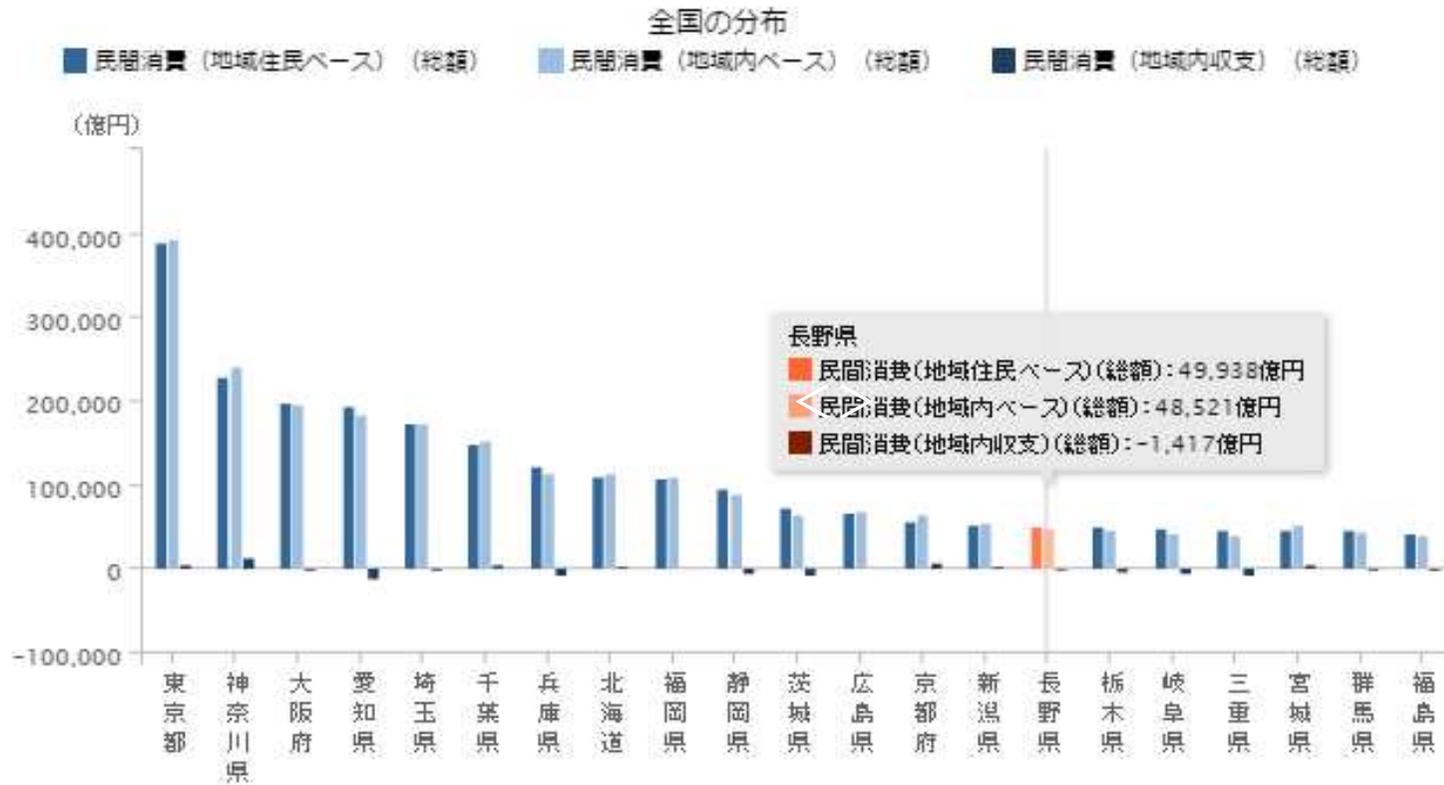
都道府県・市町村単位で、地域経済について支出面から分析することで、地域における民間消費額、民間投資額、それらの流出入状況を把握することができます。

民間消費（総額）

2010年

指定地域：長野県

民間消費による支出では、地域企業ベースの支出総額が地域内ベースの総額を上回っており、地域外への流出が起こっていることを示している。



【出典】

「RESAS地域経済循環マップ」-「支出分析」環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

※「民間消費(地域住民・企業ベース)」とは、どこで消費したかを問わず、地域の住民等が消費した金額をいう。

「民間消費(地域内ベース)」とは、地域内に消費された金額をいう。

民間消費(地域内収支) = 総支出(地域内ベース) - 総支出(地域住民・企業ベース)

一人当たり民間消費(地域住民・企業ベース) = 民間消費(地域住民・企業ベース) ÷ 夜間人口

一人当たり民間消費(地域内ベース) = 民間消費(地域内ベース) ÷ 昼間人口